

令和7年度（菅高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
入学者選抜に関わる不祥事防止	入学選抜に関わる各種業務執行について、教職員の意識やシステムの適正化を図り、事故を事前に防止する。	入学者選抜業務に関しては、出願システムや調査書の確認、テスト問題の作成及び成績処理について、入選委員会を中心に点検体制を構築し、慎重に業務を進めた。その結果、ミスなく適正に業務を行うことができた。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止する。	個人情報の取扱いについて、日常的に各教職員が点検・チェックを実施する姿勢が見られた。その結果、教職員の意識が向上し、不祥事の防止につながった。
業務執行体制	各種業務執行に際して、教職員の意識やシステムの適正化を図り、事故を事前に防止する。	事故防止に向けた職員啓発資料等を活用して、職員研修を実施した。その結果、教職員の意識が向上するとともに、各自が事故の未然防止に向け、自覚と責任を持って取り組む姿勢が見られた。
会計事務の適正執行	私費会計の適切な執行についての認識を深め事故の発生を未然に防止する。	適正な執行に向け職員の意識を高め、私費会計基準に則った事務処理及び物品管理を徹底した。特に、生徒会費、教育振興費会計について、迅速に処理をするよう指導助言を行った結果、適正な執行につながった。
わいせつ・セクハラ行為・パワハラ防止	生徒に対するわいせつ・セクハラ行為をゼロにする。	わいせつ事案をはじめとする不祥事防止に向けた取組については、継続的・計画的に校内研修会等を実施した。今後も教職員の意識の向上を目指していく。
いじめ・体罰・不適切指導の防止	体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	不祥事防止会議等を通して、各自の人権意識を高めることができた。今後も教職員の意識の向上を目指していく。
経験の浅い教職員(採用5年以内)への不祥事防止	県民の信頼を損なうことのないよう、厳正な服務規律の確保に努める。	適切な機会を設けて、学校長等から個別面談等による指導・助言や、啓発資料等を用いた注意喚起を行った。その結果、教育公務員としての自覚と責任がさらにめばえ、不祥事防止に対する意識が向上した。

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

令和7年度の不祥事ゼロプログラムの各取組項目について、行動計画に基づいて概ね実施できている。ここ数年「わいせつ・セクハラ行為・パワハラ防止」については、県下で不祥事案が依然発生していることから、不祥事防止に向けた研修や個別面談を通じ、職員への意識啓発を行った。

今後も引き続き研修等を通じ継続していく。会計事務の適正執行については、財務事務調査指導(9/17実施)の指摘事項に基づいて、必要な改善を行っていく。

今後もリーダーシップを発揮し、教職員一丸となって不祥事防止に努めていきたい。